

フジタメディカルジャーナル投稿規定

I 目的と基本方針

本誌は医学、医療科学並びにその関連分野の最新の研究を迅速に幅広く共有し、基礎と臨床の両側面の発展に寄与することを目的とする。

掲載論文の種類は原著、総説、短報、症例報告、研究プロトコル、コホートプロフィール、会員の声とする。

本誌は科学的に厳密で倫理的問題のない独自の研究成果の公開を優先し、必ずしも新規性、話題性、重大性の有無を必要としない。オープンアクセス出版を採用し、記事はオンラインで広く読者へ提供される。

II 原稿の種類

投稿可能な原稿は下記の7種類あり、全てが査読の対象となる。原稿は原則として、下記の語数以内で作成する（タイトルページ、文献は含まない）。

- **原著** (4,000 語以内)
独自の研究を報告する完全で包括的な論文。
- **総説** (6,000 語以内)
特定の分野における最新または重要な進展の概要を記載した論文。洞察を含み適切かつ十分な論拠を元に記述すること。
- **短報** (2,000 語以内)
予備的あるいは限定的な結果が得られた独自の研究を報告する論文。
- **症例報告** (3,000 語以内)
個々の患者の診断、治療、経過等の症例に関する新たな知見を記述する論文。
- **研究プロトコル/コホートプロフィール** (4,000 語以内)
研究プロトコルは臨床試験の詳細（目的・仮説、デザイン、データ、スケジュール、分析方法など）を記述した論文。コホートプロフィールは疫学的な縦断的コホート研究のプロトコルを記述した論文。
- **会員の声** (1,000 語以内)
過去に本誌に掲載された論文に対する意見（論文の発行日から3ヶ月以内）もしくは、科学的な予備調査結果の報告。

発行時の2段組みPDFで図表を含めて10頁以内となるように作成する。会員の声については2頁以内で作成する。

III 倫理規定

本誌は学術出版における最高水準を維持する。本誌の著者、編集者、査読者および出版者が研究と出版倫理において負うべき責任を以下に記す。

著者は原稿の投稿前に本誌の方針に遵守していることを確認しなければならない。編集委員長がこれらの方針に従っていないと判断した原稿については審査前に拒否または撤回する権利を有する。

本誌への投稿はその原稿が言語を問わず未発表であり他での出版が検討されていないことを意味する。原

稿が他誌での出版を検討中、または出版済みの場合、あるいは原稿内の情報が要約された抄録が学会抄録集等に掲載されている場合は投稿時に報告すること。プレプリントサーバーへの掲載については、事前出版とはみなされない。本誌への掲載可否の最終判定前に他誌へ投稿する場合は、本誌に投稿の取り下げを申し出なければならない。著者は出版倫理を遵守する責任があり、本誌への投稿は共著者を含めて全著者が原稿を承認し、内容が事実であることを保証し、投稿に同意し、出版の権利を有することを意味する。

独創性

剽窃とは知的財産の盗用または不正流用および適切な引用抜きに実質的に他者の著作物の文章の一部をコピーすることを指し、助成への応募書類や原稿の査読などを通じて特権的に知り得た他者の独自のアイデアや手法を無断で使用することも含まれる。投稿論文はiThenticate社のCrossref Similarity Checkを用いて審査され、容認できない類似性が含まれると判断された原稿は受理されない。

重複投稿とは、すでに他誌で発表または投稿済みのものと本質的に同じ論文を投稿することを指す。重複投稿と判断された原稿は不採択または撤回されることがある。

プレプリント

研究の幅広い普及を支援するため、投稿前または投稿と同時に原稿をプレプリントサーバーへ掲載することを推奨する。掲載時には著者は著作権を保持すること。査読者の意見に対応した修正を行った原稿をプレプリントサーバーに掲載することはできない。本誌に採択（アクセプト）され公開済みとなった論文へのリンクをプレプリントに掲載してもよい。

プレプリントと新規性の評価

本誌に投稿された論文の新規性を評価する際に、編集者は本誌への投稿後にプレプリントサーバーに掲載された他の原稿を考慮しない。原稿がプレプリントサーバーに掲載された後3か月以内に本誌へ投稿された場合、編集者はプレプリントサーバーへの投稿原稿を新規性の判断において考慮しない。

オーサーシップ

投稿にあたっては全著者が論文投稿を承認し、投稿後の著者の変更（追加、削除、順番等）は、全著者と編集委員会の承認が必要である。原稿の採択後は著者の変更は認められない。

著者とは、研究の構想・設計、データの取得、分析・解釈、統計解析の実施、資金調達、監修、材料・患者・資源の提供、原稿の作成、ブラッシュアップや重要な修正、文献検索、その他原稿完成に関連する実質的な貢献を行った者を指す。投稿の過程で役割の明記を求められる。

画像

画像のデジタル処理は必要最小限に止め原稿に明記すること。処理は標準的な方法で画像全体に適用し、画像は明瞭に原稿中に示され、元データを正確に反映すること。画像の一部を移動、削除、追加または強調

することは認められない。加工前画像の提供を求められた場合にオリジナルの画像が提供できない場合、原稿の不採択または論文の撤回がされることがある。

著作物の複製

原稿に著者自身の著作権に属さないものが含まれている場合、著者は複製について著作権者の許可を得て複製許可証を投稿時に原稿に添付すること。

原稿に既発表の内容が含まれる場合、著作権やライセンスの状況に応じて著作権者および出版社から複製の許可を得て、原稿中で適切に示されなければならない。

データおよび資料の入手

公開済みのデータや資料の引用時は必要に応じて登録番号や企業名などを記載する。

データベースやリポジトリへのリンクを原稿に記載することで自らのデータや資料を公に利用可能にすることができる。すべてのデータは査読時に編集委員会および査読者に提供できる状態にし、掲載後は少なくとも3年間保存すること。

合理的な理由に基づいて著者に対して研究で使用したデータ、試料、実験プロトコルなどを提供するように要請された場合、著者がこれに応じることが望ましい。

動物/人体実験の倫理

ヒトまたはヒト由来する試料を含む実験を記述した原稿においては、著者はヘルシンキ宣言、および著者の所属機関で承認されたガイドラインに従って実施されたことを表明すること。必要に応じて研究への参加および発表に関して参加者から同意を得た手順を原稿に記載すること。

動物または動物由来の資料を用いた実験を記述した原稿において、著者はその研究が著者の所属機関で承認されたガイドラインに沿って行われたことを表明すること。

患者情報の出版

症例報告書等、識別可能な患者の個人情報公開する場合、必要に応じて患者またはその親権者から書面による同意書が必要となる。患者が死亡している場合は、遺族または後見人の同意が必要となる。FMJ ホームページ上の同意書の様式を必要に応じて使用してもよい。署名された同意書は著者が安全な方法で保管すること。編集委員会は必要に応じて同意書の確認を求められることができる。この場合、編集委員会は同意書に含まれている個人情報の取り扱いに細心の注意を払うものとする。

著者は患者データを可能な限り匿名化する責任があり、情報が完全に匿名化されている場合には、同意書の取得は不要になる場合がある。ただし、同意書が必要かどうかの最終判断は編集委員会が有する。同意書の取得が不要の場合を除き、患者の同意を得ている旨を原稿中に記載すること。

自然環境からの標本収集

考古学的、地質学的、古生物学的、または野生生物に起因する試料を利用した研究を記述した原稿は、そ

の出所や収集方法に関する詳細な情報を記載すること。研究実施に関連する倫理ガイドライン、現地の法令、および収集許可を記述した声明を原稿に記載すること。

臨床試験登録

臨床試験を最初の患者登録時またはそれ以前に公的な臨床試験登録機関に登録することを推奨する。臨床試験を記載した原稿は臨床試験の登録番号と臨床試験登録機関名を記載しなければならない。

ガイドライン準拠

STROBE (観察研究)、CONSORT (無作為化比較試験)、PRISMA (システマティックレビューおよびメタアナリシス) 等の関連するガイドラインへの準拠を求める。

競合利益および利益相反

透明性を高めるため全著者に関連した競合関係または利益相反関係の開示を求める。利益相反は著者が公平に研究を実施または報告する能力に影響を与えるような実際の状況、またはそのような潜在的な状況が存在するときに発生する。潜在的な利益相反には、競合する商業的または金銭的利益、商業的提携、コンサルティングの役割、株式または持分の所有などが含まれるが、これだけにとどまらない。開示はすべて本文の最後に記述し、利益相反のない場合は、開示すべきことがない旨を記述すること。研究に対する資金源は原稿の「謝辞」に記載すること。

守秘義務

本誌は未発表原稿に関する機密を保持する。著者は投稿原稿に関する編集事務局、編集委員会、査読者とのすべての連絡を機密としなければならない。

不正行為

著者は原稿および基礎となる研究が捏造、改竄、盗用されていないことを保証すること。文部科学省の「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」(2014年)において捏造は存在しないデータ、研究結果等を作成すること、改竄は研究試料・機器・過程を変更する操作を行い、データや研究活動によって得られた結果等を真正でないものに加工すること、盗用は他の研究者のアイデア、分析・解析方法、データ、研究結果、論文又は用語を当該研究者の了解又は適切な表示なく流用することと定義される。

セルフアーカイビング (グリーンオープンアクセス)

本誌では著者に対し CC BY 4.0 ライセンス条件の範囲内で掲載後に所属機関や公的なリポジトリに論文をアップロードすることを奨励する。

長期アーカイブ

J-STAGE では Portico でコンテンツを保存している (<https://www.portico.org/publishers/jstage/>)。J-STAGE で利用できなくなった場合でも Portico で公開・利用可能となる。

広告に関する方針

本誌の主な収入源は藤田医科大学医学会からの運営資金と著者から支払われる掲載費用であり、広告が掲載されることがあった場合でも、編集上の意思決定に

は影響を与えない。広告に関する業務は編集委員会から独立して行われる。

IV 査読過程

査読はシングルブラインド制で行う。査読者の氏名や属性は著者には開示されない。

提出された原稿はまず形式がジャーナルの規定に合っているかを点検した後、担当編集委員が選出した2名以上の査読者による審査を受ける。担当編集委員の判断をもとに編集委員長が最終的な判断を下し、そのまま原稿が採択されるか、または要修正、あるいは不採択として著者に戻されるかが決定される。修正が必要な原稿は、具体的な提案とともに著者に返送される。著者は査読者への返答を作成し、指示通り修正した箇所、あるいは指示に同意できない理由を明記すること。修正箇所にはハイライト等をして示すこと。修正時に投稿原稿の種類（原著論文、短報、症例報告等）の変更を求められることがある。

日本語で投稿された原稿は日本語で査読され、仮採択後に英語翻訳を経て英語論文として正式に採択される。日本語原稿は英語版の補足ファイルとして公開される。

編集委員会およびInternational Advisory Boardは査読者としてフィードバックを行い、ジャーナルを改善するための提案を行うなど、顧問的な役割を果たす。

査読者の選定、時期、および提案

査読者は地理的条件に関係なく選出される。査読者はその分野の専門知識、評判、他者からの推薦、過去の本誌査読者としての経験などに基いて選出される。査読者は査読の依頼を受けてから3週間以内に最初の査読結果を提出が求められるが、期限内の提出ができない場合には編集事務局へ連絡する。

原稿投稿時に著者は希望する査読者と希望しない査読者を提案できる。担当編集委員は提案を考慮するが、最終的な査読者の選定は担当編集委員の独自の判断による。

査読結果

原則的に査読者のコメントは原文のまま著者に伝えられる。コメントに不適切な内容や秘匿すべき情報などが含まれている場合は、査読者に相談することなく編集されることがある。

採択基準

原稿の評価は、本誌の目的と基本方針および投稿規定に記載の様々な方針に対応しているかどうかで行われる。具体的には、研究目的が明確かつ論理的に述べられているか、研究を実施する根拠・正当性が明確であるか、実験を確実に再現できるよう方法が十分に詳述されているか、研究デザインが堅固であり述べられた目的に適しているか、結論がデータによって裏付けられているか、議論が批判的かつ包括的であるか、参考文献が適切な数であり最新であるか、などが挙げられる。

また本誌では以下の要素を優先して判断する。

1. 独自の研究が科学的に正しい方法で行われていること。

2. 著者が生命倫理と研究の責任ある実施を遵守していること。
3. 原稿が科学的に標準的な方法で作成され、ジャーナルのガイドラインに従っていること。

英語の良し悪しに基づく判定はされないが、原稿の表現が理解しにくい場合は著者に適切な修正と再提出を求めることがある。

編集委員長は論文が本誌の受理条件や修正条件を満たさない場合、不採択を勧告することがある。

編集の独立性

設立母体である藤田医科大学医学会は本誌の編集に関するすべての決定について、編集委員会に完全かつ唯一の責任を与えており、根本的なプロセスの破綻が起こった場合を除き編集上の決定に関与しない。

編集上の判断は論文の科学的価値のみに基づいて行われ、他の利益とは完全に分離される。

異議申し立て

編集上の決定に誤りがあったと思われる場合、著者は編集事務局に異議を申し立てることができる。異議申し立ては査読者や編集委員会の誤解や誤りを示す詳細な証拠を著者が提出した場合にのみ考慮される。編集委員長が異議申し立てを慎重に検討し、最終決定を下す。出版倫理委員会（COPE）のガイドラインが必要に応じて遵守される。

査読における守秘義務

本誌は、すべての未発表原稿の機密性を保持する。編集委員会と査読者は以下を順守する。

1. 査読者の合理的な要求のない限り査読者の身元を開示しない。
2. 原稿やその内容について、査読に直接関与していない他者と話し合わない。
3. 原稿データや情報を自身の研究や出版物に使用しない。
4. 査読で得られた情報を、自分自身や他者に有利もしくは不利になるように使用しない。

編集事務局の許可を得ずに査読者の身元を著者に明かしたり、査読に他者（例えば、ポスドクや博士課程の学生）を関与させたりしてはならない。

査読における利益相反

利益相反は、編集委員が公平に原稿を評価しようとする能力に影響を与えるような実際の状況、またはそのように認識されている状況、またはそのような潜在的な状況が存在するときに発生する。著者と個人的または職業上の関係がある、著者と同じテーマで仕事をしている、または著者と直接競合している、作品やその出版に金銭的な利害関係がある、原稿の以前のバージョンを見たことがある、等がそれにあたる。

編集委員および査読者が原稿を扱う際に利益相反のある場合は当該原稿の担当から外れる。担当編集委員は、査読者選出時にできる限り利益相反を回避するよう努める。

掲載後の訂正と撤回

訂正は掲載された論文に誤りがありそれを修正して

読者に知らせることが適切であると編集委員長が判断した場合に発行される。訂正はジャーナルに新規論文として掲載され元の掲載論文を引用する。

論文に重大な誤りがあり結論が無効になった場合には撤回が検討・発表される。また剽窃、重複出版、非倫理的な研究等、出版物の不正行為の証拠がある場合にも撤回が行われる。

どちらの場合も元の論文には変更が加えられない。

懸念の表明は、論文に重大な誤りや出版不正があるかどうか調査されている場合や、論文の完全性に関して編集委員会と研究機関の調査委員会との間で意見が対立している場合に検討され、論文の添付ファイルとして編集委員長により掲載される。

内部で解決できない苦情や編集委員会に関連する苦情については外部の専門家に裁定を委ねることができる。

編集委員が著者となる場合

編集委員会のメンバー（編集委員長を含む）が投稿原稿の著者である場合は査読プロセスから除外される。

編集委員長が原稿の著者である場合、担当編集委員がその原稿の掲載可否の最終判断を下す。原稿は他の原稿と同水準の審査が行われる。

倫理違反の可能性への対応

倫理違反の申し立てに対しては本誌の方針と、可能であればCOPEのガイドライン、基準、資料に従って対応する。また科学的不正行為、懸念の表明、撤回に関する医学雑誌編集者国際委員会（ICMJE）の勧告にも従うものとする。

本誌は研究不正が行われた原稿を特定し掲載を防ぐための合理的な措置を講じ、このような不正行為を助長したり故意に不正行為を許すことはない。

V 著作権、オープンアクセスポリシー、掲載費用

本誌はオープンアクセスで、すべての出版物にクリエイティブ・コモンズ・ライセンスを使用する。

著作権とライセンス

著者は著作権を保持するが、原稿採択後に藤田医科大学医学部にCreative Commons Attribution 4.0 (CC BY 4.0) 国際ライセンスの下での雑誌への転載を許可するためのLicense to Publishに署名する必要がある。同ライセンスは原著者と出典の引用を条件に著者、出版者の許諾なしに掲載論文のダウンロード、再利用、複製、転載、配布、修正を認めるものである。

資金提供団体によっては、資金提供を受けた論文を特定のクリエイティブ・コモンズ・ライセンスの下で公開することを要求する場合があるため、投稿前に関連する資金提供団体に確認し検討すること。

掲載費用

掲載費用は依頼原稿を除き、12万円を著者の負担とする。ただし第一著者、責任著者がともに藤田医科大学医学部会員の場合は7万円の負担を求めることとする。採択原稿の著者へは掲載前に請求書が送付される。投稿に対する費用は徴収しない。

掲載費用の免除

著者の中に研究機関に所属する者がいない場合、または著者全員がOECDの開発援助委員会の政府開発援助受領国リストに掲載されている「後発開発途上国」または「その他の低所得国」の出身者である場合には論文の掲載費用が免除となる。その他の理由による掲載費用の免除申請があった場合は個別に検討される。掲載費用の支払可否は論文の掲載可否に影響を与えず原稿の審査に関与した編集委員は免除の審議には関与しない。申請希望者は投稿時にカバーレターに申請内容を記載すること。審査開始後の申請は認めない。

VI 原稿の提出

原稿は、オンライン投稿システムから投稿する。
(<https://mc.manuscriptcentral.com/fmj>)

編集事務局にて基本的な要件を満たすことを確認した後、著者全員にAuthorship及びConflict of Interest Declarationの入力フォームが電子メールにて送信される。著者全員のフォーム入力が確認でき次第査読が開始される。

VII 原稿の作成

書式

原稿はMicrosoft Wordで作成する。原稿サイズはA4とし、ページ余白は左右2.5cm以上、上下3cm以上とする。フッターに頁番号、左側余白に行番号（タイトルページには不要、連続番号）を表示すること。

英語の質

原稿は、明瞭で文法的に正しい英語で書くこと。英語を母国語としない著者は、投稿前に英文校正を受けることを強く推奨する。英語の不備により原稿が明確でない場合は査読前に返却され、新規投稿として再提出を求められることがある。

日本語投稿

日本語を母国語とする著者は日本語で原稿を提出することができる。詳細はFMJホームページの「日本語投稿の手引き」を参照すること。
(<https://www.fujita-hu.ac.jp/fmsociety/fmj/124779000000my-att/12477900000000qb.pdf>)

略語と単位

略語は抄録と本文の両方で初出時に定義し、それ以降はその略語を使用する。単位はSIまたはSIに由来するものを使用する。

カバーレター

初回投稿時に以下の事項を明記したカバーレターを必ず添付すること。

- フジタメディカルジャーナルに投稿すること。
- 原稿の種類
- 論文のタイトル
- 論文の主要な結果とその医学、医療科学並びにその関連分野における意義
- 全著者が投稿を承認していること、また論文の内容が他の雑誌に掲載または投稿されていないこと。掲載費用免除申請やその他の倫理宣言等も、必要な

場合には記載すること。

フォーマット

原稿は以下の順序で構成すること。

1. タイトルページ
2. 抄録とキーワード
3. 本文 (利益相反についての項目を含む)
4. 謝辞
5. 引用文献
6. 図のキャプション
7. 表(1 ページにつき 1 つ)
8. 図 (1 ページにつき 1 つ)

タイトルページ

タイトル、著者全員の氏名、学位 (M.D.、Ph.D.等) と所属、原稿の種類、ランニングタイトル (スペースを含めて 80 文字以内)、責任著者の氏名、住所、電話番号、メールアドレスを記載する。タイトルは簡潔にし、文献検索データベースに使用されている用語を含むことが望ましい。タイトルに略語を使用しないこと。

抄録とキーワード

抄録は 250 語以内とし、それに続くキーワードは 5 つ以内とする。原著の場合、以下の項目からなる構造化抄録とする: Objectives (目的)、Methods (方法)、Results (結果)、Conclusions (結論)。原著以外の場合も構造化抄録が望ましいが、そうでなくてもよい。

本文

原著の場合、その次頁から本文を Introduction (序論)、Methods (方法)、Results (結果)、Discussion (考察)、Acknowledgements (謝辞) の順序で記載する。原著以外の場合には必ずしもこの通りでなくてもいいが、これに準じた形式とすること。さらに小項目に分ける場合は、サブタイトルをイタリック (斜体) で記載すること。表、図及び写真は出現する順に番号を付け、挿入位置を必ず本文の中に指示すること。引用文献は出現順に通し番号を付し、その番号を上付きのアラビア数字で記入すること。方法は倫理審査委員会の承認や研究対象者からの同意書の取得方法等、倫理的問題に関する情報も含めること。

謝辞

簡潔にまとめ、すべての資金源を記載する。

引用文献

本文に続いて引用文献を記載する。本文に引用した順に番号を付し、引用文献の種類 (A) ~ (D) に応じ、以下の例示の様式で記載する。

- (A) 雑誌: 著者名. 雑誌名 発行年; 巻数: 始頁-終頁. 著者名はすべての著者を記入する。ただし 16 名以上の場合、初めの 3 名と et al. とする。雑誌名の略語は PubMed による省略法を用いる。頁は原則として始めと終わりを記入する (例 1)。日本語の論文は、最後に (in Japanese) をつける。英語タイトルがない場合にはローマ字で記述した日本語タイトルと投稿者による英訳タイトルを併記する (例 2)。和文雑誌名は略誌名を使わず、ローマ字で書く。ただし、欧文名があれば、その略誌名を使用してもよい。引用論文が出版準備中の場合は (in press) を、オンラ

インで出版済みの場合は (epub ahead of print) を記す。投稿中で採否が決定していない論文は引用してはいけない。

例 1. Komoto S, Pongsuwanna Y, Ide T, Wakuda M, Guntapong R, Dennis FE, Haga K, Fujii Y, Katayama K, Taniguchi K. Whole genomic analysis of porcine G10P[5] rotavirus strain P343 provides evidence for bovine-to-porcine interspecies transmission. *Vet Microbiol* 2014;174:577-83.

例 2. Nakasone I. Biseibutsu *Streptococcus milleri* group no doutei (Identification of *Streptococcus milleri* group). *Kensa to gijutsu* 1998; 26: 15-9 (in Japanese).

(B) 単行本: 著者名. 書名. 発行地: 出版社; 発行年: 引用の始頁-終頁.

Hu FB. *Obesity epidemiology*. New York: Oxford University Press; 2008: 38-52.

(C) 複数の著者によって書かれた単行本:

Rothman KJ, Greenland S, Lash TL. *Case-control studies*. In: *Modern Epidemiology*. 3rd ed. Philadelphia, PA: Lippincott Williams & Wilkins; 2008: 111-27.

(D) オンライン上の文献・資料: 著者 (著者の記載がない場合は、提供元機関). タイトル; 年. <URL> (アクセス日)

Cabinet office, government of Japan. *Kokumin seikatsu ni kansuru yoron chousa (Public opinion survey on the daily lives of people)*; 2018 (in Japanese).

<<https://survey.gov-online.go.jp/h28/h28-kotsu/zh/z09.html>> (Accessed June 22, 2018)

表および図

表は 1 ページにつき 1 つ掲載する。アラビア数字の通し番号を、出現順に「Table 1」、「Table 2」のようにつける。表中の見出しは簡明で理解に十分な表現を用いること。脚注が必要な場合は、^a^bのように上付きアルファベットを付与する。

図の数は最小限にすること。図は、本文中では十分説明しきれない結果あるいは方法をわかりやすく表示するためにのみ利用すること。図 (写真、グラフ、図式等) は 1 ページに 1 つ掲載する。アラビア数字の通し番号を、出現順に「Figure 1」、「Figure 2」のようにつける。図はカラーでもよい。論文が採択された場合、次段落に記す条件を満たした図版の電子ファイルの提出を求めるので、予め準備しておくこと。ただし、初回投稿時のファイル形式は、査読にあたって詳細が十分確認できればこの通りでなくてもよく、ワードファイルに貼り付けたものでもよい。

採択時に提出する図版は、原則として実際に印刷される大きさで作成すること。グラフ、図式は白黒または RGB モードで、原則として 900-1,200dpi の解像度とすること。印刷時の大きさで、フォントが 8 ポイント未満の図中の文字は判読が困難なので使用

しないこと。写真の場合、解像度は300dpi以上とし、カラー写真の場合はカラーモード RGB とすること。写真と文字を含む図の場合の解像度は500dpi以上とすること。手書きの図は受理されない。これらの推奨基準は、印刷品質を確保するためのものであり、遵守すること。必要があれば以下のガイドラインを参照すること。

<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/pub/filespec-images/>

図の題名及び説明は、引用文献の次の頁からまとめて記載する。

VIII 採択後原稿の発行

採択された原稿は、本誌の発行体裁に合わせて編集され、同時に英文校正が行われる。訂正箇所がある場合には編集事務局と連絡を行うこと。掲載費用を受領した後、PDF 編集を経て出版される。

本誌は年4回発行される。本誌の発行に先立ち、採択論文は早期公開としてオンラインで公開される。採択原稿に関するすべての連絡は責任著者との間で行われる。

校正

校正用 PDF が責任著者に送付される。責任著者は編集事務局の指示に従って確認し返送する。著者校正は1度のみである。訂正は印刷上の誤りに対してのみ行うこと。その他の変更は雑誌発行の遅れの原因となり、その経費が著者に求められることがある。

フジタメディカルジャーナル編集事務局

〒470-1192、豊明市杓掛町田楽ヶ窪 1-98、藤田医科大学図書館内

電話：0562-93-2425

電子メール：igakukai2@fujita-hu.ac.jp

2022年6月1日 Version 4.1